



会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
所 長	<p><b>開会あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度は、ほぼ計画通り事業を終えることができた。</li> <li>○ 本会議では、令和7年度の報告を受け、令和8年度事業の説明及び質疑を行う。</li> <li>○ 限られた時間だが、皆様から建設的な意見をいただきたい。</li> </ul>
事務局（古塩）	<p><b>(1) 令和7年度実施事業報告</b>〔資料・スライドに基づき説明〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 研修事業</li> <li>② 児童生徒・一般対象事業</li> <li>③ 研究事業</li> <li>④ 奉仕事業</li> </ul> <p>○ 令和7年度は、柱となる4つの事業を予定どおり実施した。概要及び特徴的な点は下記のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指導基礎研修会：参加者数が減少。理科担当の先生が激減したことが一因と考えられる（小学校で理科専科の先生が増えたことも要因）。</li> <li>2) 研究協力員による理科指導情報交流研修会：今年度6回計画し、5回実施。好評であったが、公開授業の実施を望む声もあった。</li> <li>3) 佐渡学研修会：6回実施。参加者数は総計で横ばいだが、続けて実施している研修では参加者が少ない傾向。</li> <li>4) 科学体験教室（要請講座）：15回受け入れ。年々1～2回ずつ増えている。</li> <li>5) 標本同定会：標本を作る子どもが減っているためか申込が少ない。</li> <li>6) 子どものための科学祭り：「佐渡島SDGs天・地・人サイエンスプロジェクト」（以下、天地人SP）との同日開催もあり、参加者数は延べ1,046人と増加。他方、科学作品展の出品数は減少傾向。</li> <li>7) 児童生徒科学研究発表会：発表者数は若干減少したが、継続研究する子どもが増える傾向。今年度から発表要項をデジタル化し提出するスタイルに変更。学校側の労力の軽減を図ったが、デジタルファイルの作成・提出が円滑にいかない面もあった。</li> <li>8) 事業アンケートの結果：概ね肯定的な評価。希望する事業項目も実施した事業内容と一致していた。ただし、前年より評価が下がっている項目もあり、マンネリ化が要因の1つと考えられる。</li> </ol>

<p>運営委員 1</p>	<p>【質疑・応答】</p> <p>・<u>給食の異物の同定について</u></p> <p>2 件対応したという給食の異物は何だったのか。</p> <p>→ 1 件は骨かプラスチックで判定不能。もう 1 件は黒い木片状のもので燃やして炭化したので有機物とみられた。(事務局)</p>
<p>運営委員 1</p>	<p>・<u>予算の執行について</u></p> <p>個人的にシャーレを購入しようとした際、店舗では 3,500 円の単価であったのに対し、Amazon では 1,000 円台であった。物価上昇で予算執行が大変な中で、通信販売を利用することはできないか。また、教材の貸出のためにある程度備品をそろえておく必要があると思うが、在庫は十分にあるか。</p> <p>→ 物品の購入の際には、所管課の方針もあり通信販売は利用せず、市内の店舗から購入している。シャーレなどの教材は、原則として各小中学校が備品として備えているので小中校への貸出の実績はない。ただし、佐渡特別支援学校は科学教材を備えられない事情もあり、毎年試験管・ビーカーを 20 個ほど貸し出している。今のところ足りているので、買い足す予定はない。(事務局)</p>
<p>事務局 (古塩)</p>	<p>(2) <u>令和 8 年度の運営について(案)</u> [資料・スライドに基づき説明]</p> <p>① 運営の基本方針(案)</p> <p>② 運営の重点(案)</p> <p>③ 事業の内容(案)</p> <p>④ 予算(案)</p> <p>○ 令和 8 年度事業の基本方針は令和 7 年度を踏襲。主な変更点は下記のとおり。</p> <p>1) 運営の重点：学校現場の実情を踏まえた形の文言に変更。</p> <p>2) 事業内容の 4 本柱：そのまま前年度を踏襲するが、細かな内容改善を図る。</p> <p>3) 授業力向上研修：iPad 導入を踏まえた研修などを組み入れ。</p> <p>4) 佐渡学研修：既存の研修内容の見直しを行うとともに、農業分野を対象とした新規の研修会を加え 7 回実施の予定。</p> <p>5) 児童生徒・一般対象事業：各事業を前年度並みに実施。「子どものための科学祭り」は「天地人 S P」から今年度と同様同日開催の要望あり。</p> <p>6) 子どものための科学祭り：当日配布していたパンフレット(出品作品・授賞作品一覧)は廃止する。個人情報保護と経費節減などの観点から。</p>

<p>運営委員 1</p>	<p><b>【質疑・応答】</b>  <b>・「運営の重点」について</b>          令和 8 年度の「運営の重点」の改正点で、「学校現場…」とあるが、実際に現場に出向くということか。そうであるなら良いことと思う。          → 出向くこともあるが、実際には学校長や研究協力員等現場の先生方からメールなどで聞き取ることが多くなると思う。(事務局)          → 今年度、全県の理科センター一斉に、小学校の先生方を対象としたアンケートを実施し、現場でのこまり感などのこまかい聞き取りを行い、集約結果も出ている。その提起された課題を踏まえた上で「実態、課題」とさせてもらった。(所長)</p>
<p>運営委員 2</p>	<p><b>・科学祭り・天地人 S P アンケート集計結果について</b>          アンケート集計結果の△印を付した項目は改善の要望と思うが、来年度に向けて検討している項目はあるか。          → 来年度も 2 つのイベントを同日開催するとすれば、①科学体験ブースの時間の調整、②ブースの内容、③会場の場所の設定、などの再検討を考えている。(事務局)          → 科学教室の体験コーナーはどんなに工夫しても全部は回れない。改善しようとしても限界はある。残念だったと言ってくれるからこそ来年も来ていただけるきっかけになり、宣伝にもなる。(所長)</p>
<p>運営委員 1</p>	<p><b>【質疑・応答】</b>  <b>・新年度の研修会について</b>          来年度の研修事業の 1 つとして佐渡農業技術センター長が講師を務めていただけるのは有意義と思う。研修では農業技術センターの設立経緯や農業が神事とも関わっている歴史的な内容も是非触れて欲しい。中興神社内にある更生殿は農業技術センターの敷地内にあったものが移設されたと聞いており、センター長がおみえになることもある。          → 実施に際し、参考にさせてもらおう。(事務局)</p>
<p>運営委員 3</p>	<p><b>・「児童生徒科学作品展・出品作品一覧」配布の取り止めについて</b>          「出品作品一覧」の配布を取り止めたいとのことだが、配布して欲しいというニーズはないのか。紙媒体で多数を配布するのがふさわしくないならホームページなど別の形でお知らせするという手段もあるが。          → 久しぶりに「科学作品展」に参画し、パンフレット（出品作品一覧）の配布が続いていることに驚いた。紙媒体で不特定多数に配るという行為はこの時代まづいのではないかと感じ、所員には来年度廃止の方針を伝えた。廃止すれば今年にはパンフレットはないのですかと言う人が必ず出てくると思うが、配れない時代なのですと説明し、理解していただくしかないと考えている。(所長)</p>

	<p>(3) その他 特になし。</p>
オブザーバー	<p>(4) 諸連絡</p> <p>○「<u>天地人サイエンスプロジェクト</u>」の実施報告〔資料に基づき説明〕 「佐渡市子どものための科学祭り」と同日開催させてもらった「天地人SP」の実施報告をさせてもらう。</p> <p>資料のスケジュール概要にあるように9月14日の「サイエンス教室」、と9月14・15日の「サイエンスワークショップ」を「科学祭り」と同じ会場で実施した。「サイエンス教室」は、対話型の科学教室で「フィールドサイエンス」の子どもたちも参加し、人数的にはいっぱいだったが、内容の濃いものとなった。「サイエンスワークショップ」は県内外の大学から参画してもらい盛況であった。「フィールドサイエンス」に参加した子どもたち36人は、「科学祭り」の参加後、「潮津の里」で宿泊、翌日は小木半島や植物園などで研修を行った。</p> <p>課題として、①「天地人SP」の事前の周知、②「子どものための科学祭り」とイベントの開催時間の調整、③サイエンスワークショップの事前申込の実施、が挙げられる。</p> <p>両イベントの同日開催により参加者に多彩な場を提供できたと感じ、参加した先生方や島外の子供たちからも佐渡の歴史的なすばらしさや佐渡の子どもたちの科学作品のレベルの高さに驚き・感動したと聞いている。今後も同日開催により相互に発展できることを願っており、新年度の会議で改めて提案させていただきたい。</p>
次長	<p><u>・閉会あいさつ</u></p> <p>○今年度の反省を踏まえ令和8年度の方向性が示された。</p> <p>○本年を踏襲しつつ、①働き方改革、②授業時数、③iPad対応など、来年度に向けた内容の改善が期待される。</p> <p>○佐和田中学校の理科担当でない若手教員からも研修会の参加があった。佐渡を知り知見を広げる良い機会であり、そのようなニーズにも応えられる理科教育センターの事業は有難いと感じた。</p> <p>○個人的にも例年参加している磯の生物研修会の他、ジオパークや植物の研修に参加して見聞を広めたい。</p>